



2016年3月期 決算説明会

2016年5月20日

バンドー化学株式会社

I. 会社概要

II. 2016年3月期 決算概要

III. 2017年3月期 業績予想

IV. 中期経営計画

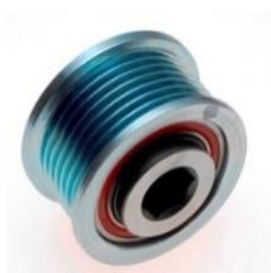
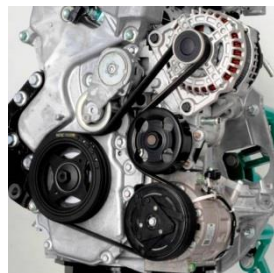
Breakthroughs for the future について

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2016年3月31日現在)

自動車部品事業



●自動車用補機駆動ベルト

●オートテンショナ

産業資材事業



●産業機械用駆動ベルト

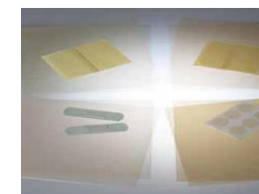
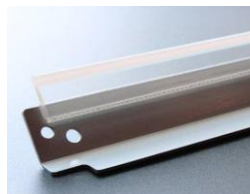


●農機用駆動ベルト



●コンベヤベルト

高機能エラストマー製品事業



●精密機能部品製品
(左:クリーニングブレード 右:高機能ローラ)

●機能フィルム製品

Ⅱ. 2016年3月期 決算概要

■ 2016年3月期 決算ハイライト

(百万円)

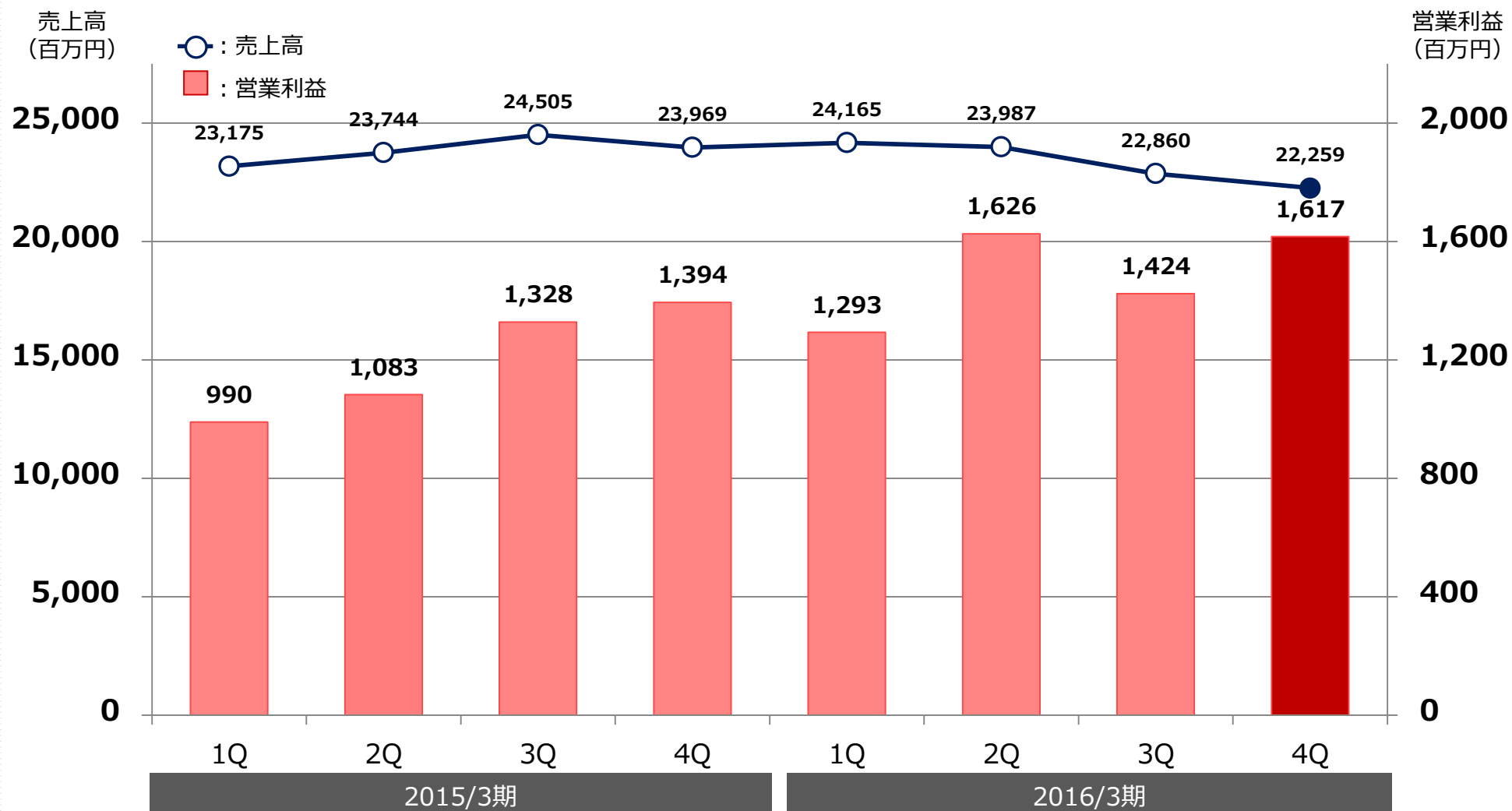
	2015/3	2016/3			
	実績	実績	前年同期比	事前予想	事前予想比
売上高	95,395	93,272	△2,123	95,000	△1,727
営業利益	4,797	5,960	+1,163	5,800	+160
経常利益	5,730	6,363	+633	6,800	△436
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,758	4,386	+628	4,500	△113
営業利益率	5.0%	6.4%	+1.4%	6.1%	+0.3%

- 前年同期比では売上高は減少したが、原価低減活動の徹底によるコストダウンにより、営業利益は増加した。
- 業績予想に対しては、売上高は未達となるも、営業利益は予想を上回る結果となった。

■ 2016年3月期 決算ハイライト

- 自動車部品事業は、中国、アジアの主要顧客の生産減および日本の生産台数の低迷により、前年同期比で、販売が減少した。スクーター用変速ベルトを手掛けるベトナム、インドにおいては、販売が大きく伸長し、インドにおける生産が本格的に開始した。
- 産業資材事業は、一般産業用伝動ベルト製品が、米国、アジアの堅調な設備需要と中国の農業機械購入補助金の再開により、前年同期比で販売が増加した。
- 高機能エラストマー製品事業は、高付加価値製品の拡販による機能フィルム製品の販売が増加するも、主力OA機器メーカーの生産減に伴い、精密機能部品の販売が減少し、前年同期比での販売はほぼ横ばいに推移した。
- ナフサ価格の下落に伴う原材料調達価格の低下、原価低減の徹底、および海外生産拠点の生産増に伴う採算改善が進んだことなどにより、営業利益が増加した。

■ 四半期推移(売上高/営業利益)

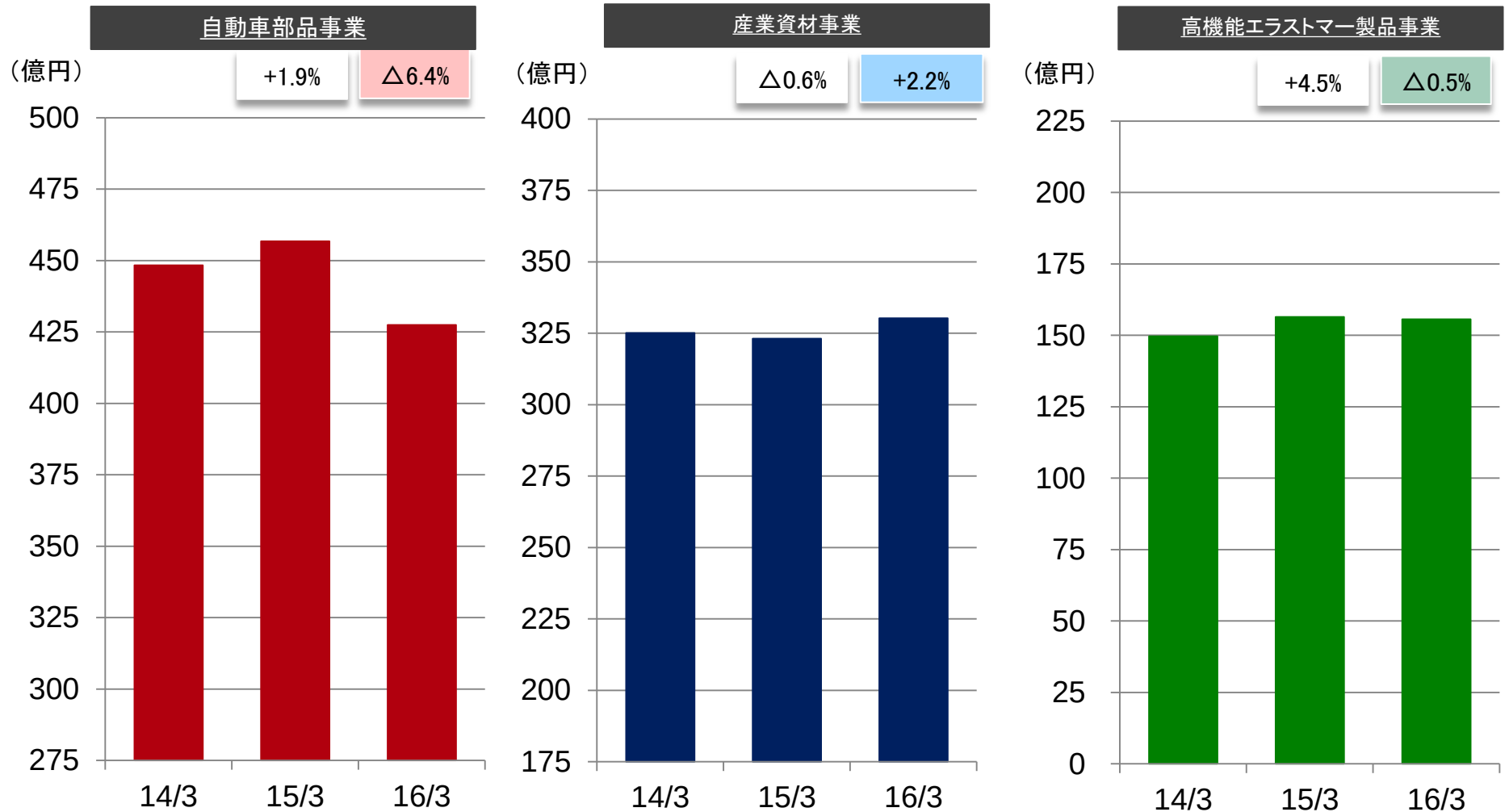


■ 2016年3月期 セグメント別業績

(百万円)

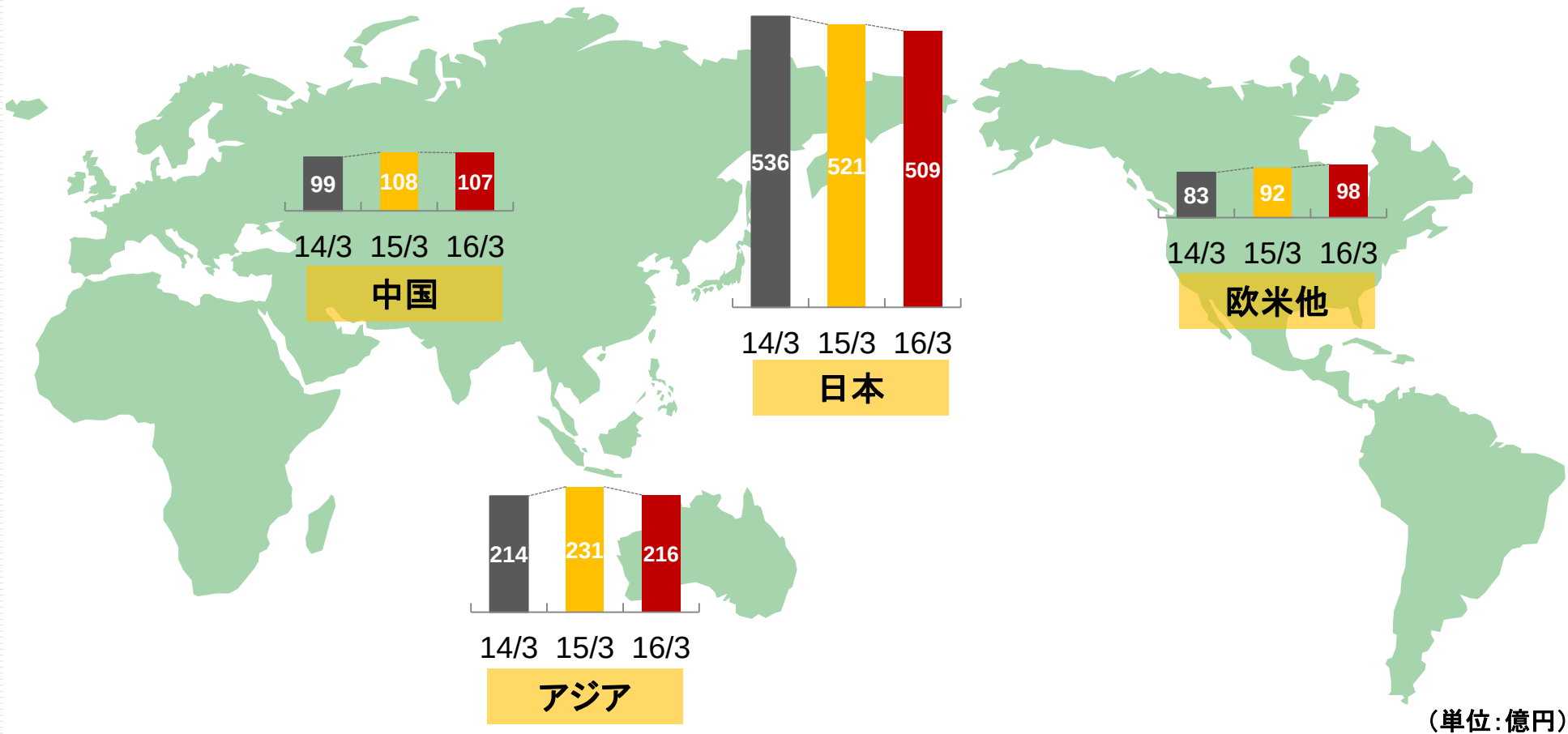
	売上高	セグメント利益
自動車部品事業	42,844	3,323
産業資材事業	33,096	1,924
高機能エラストマー製品事業	15,619	759
その他	2,630	275
セグメント間消去	△920	△322
合計	93,272	5,960

■ セグメント別 売上高推移



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

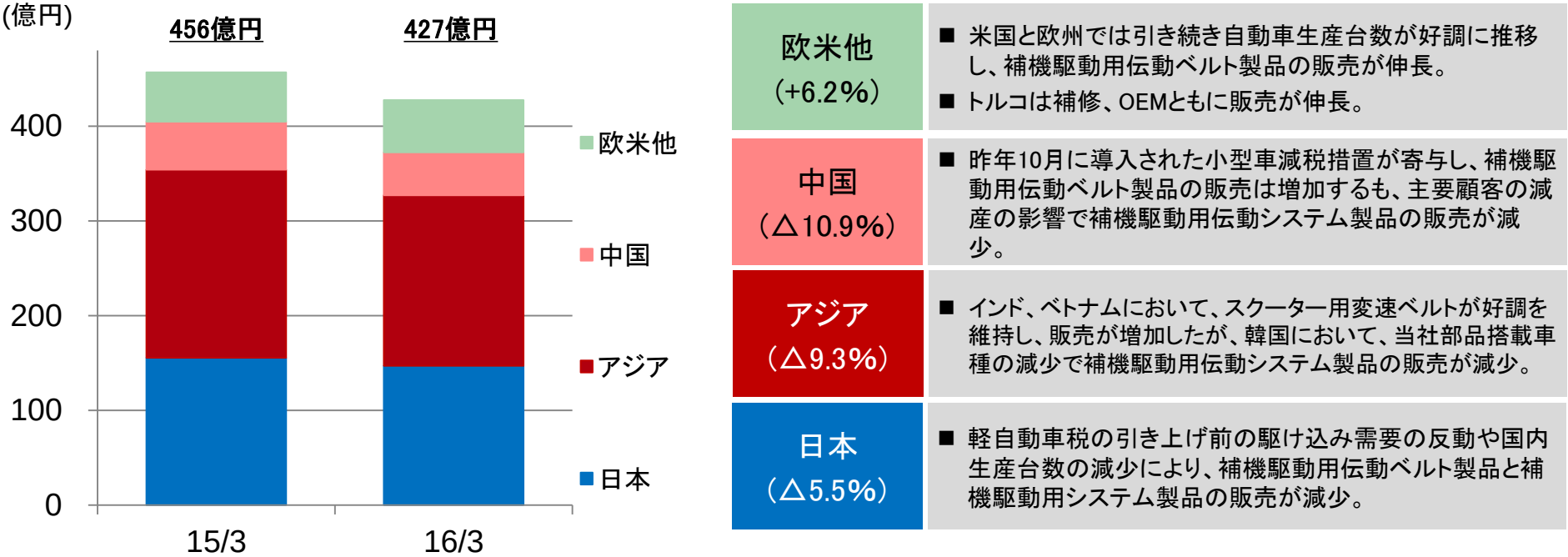
■ グローバル市場展開:所在地別売上高



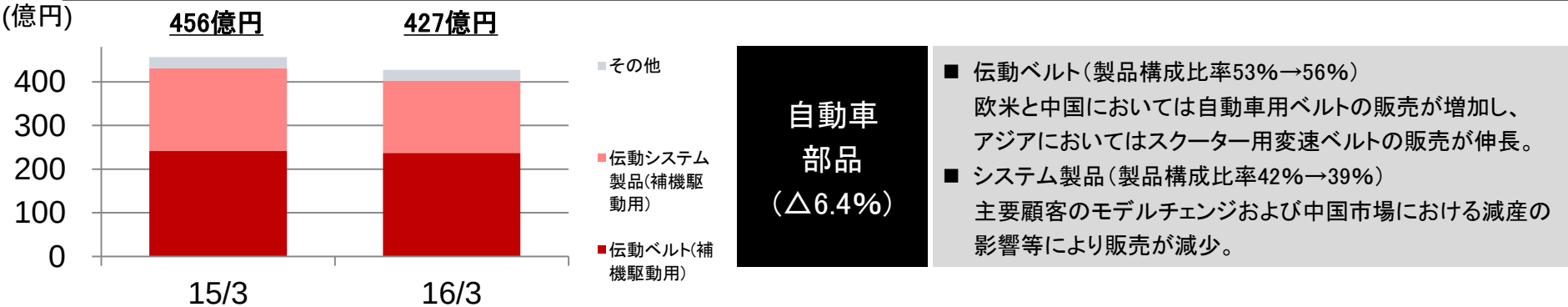
(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

所在地別売上高

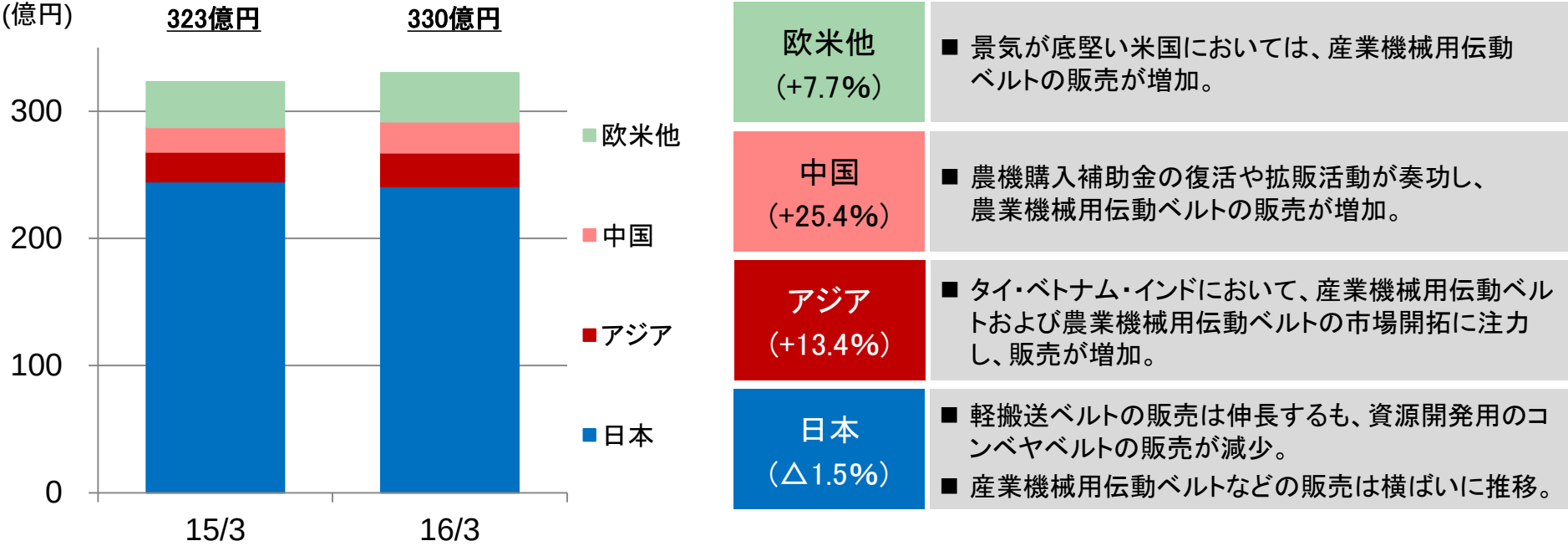


製品別売上高

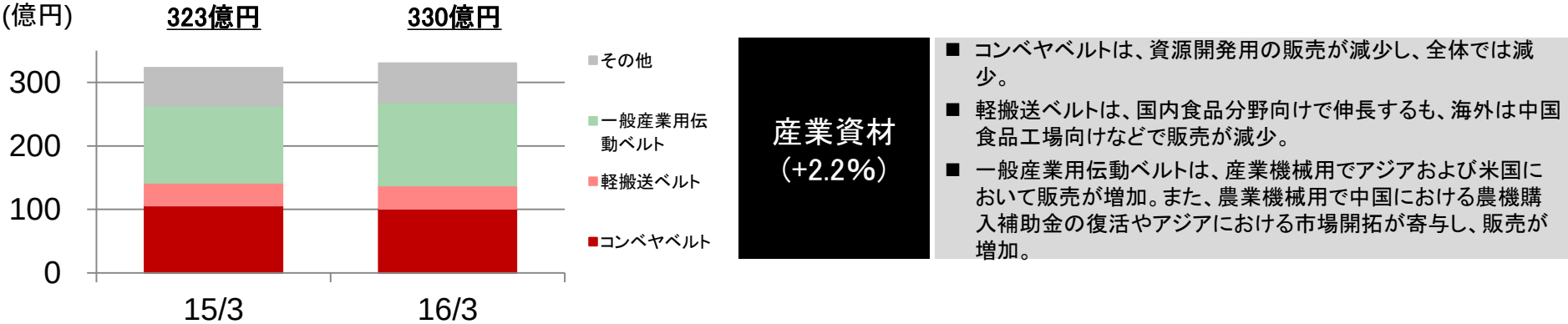


産業資材事業 概要

所在地別売上高

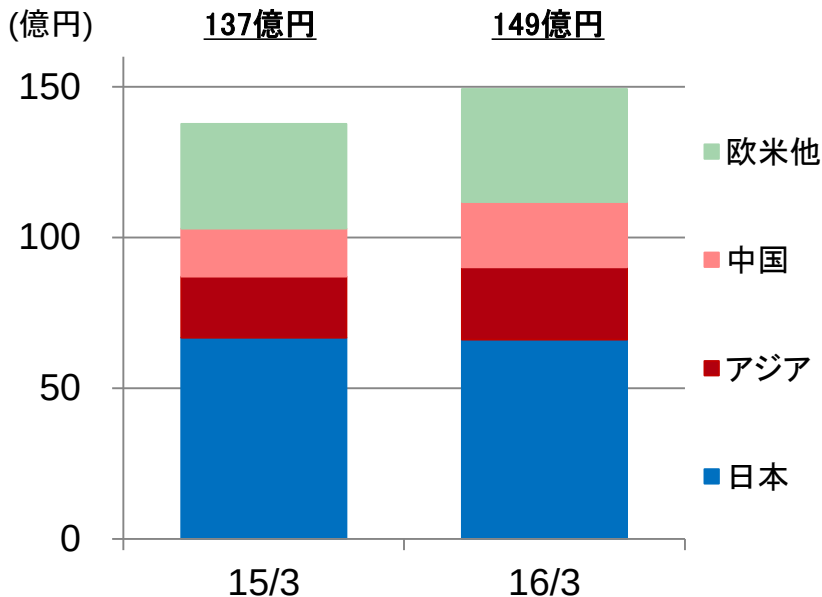


製品別売上高

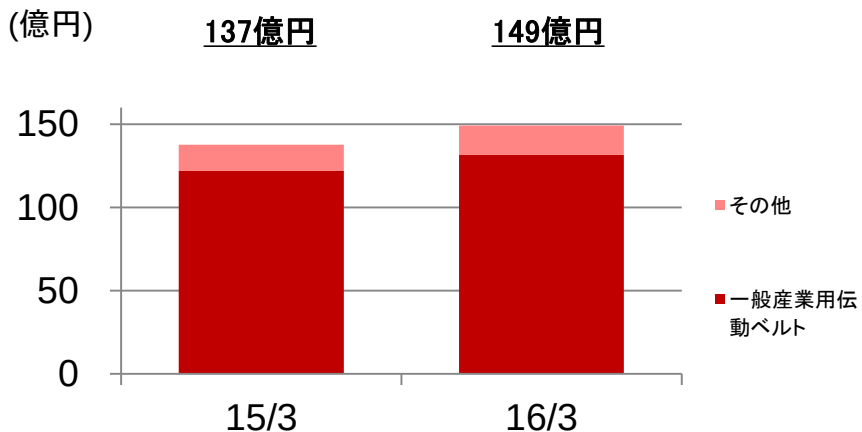


(参考)産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品、運搬ベルト)

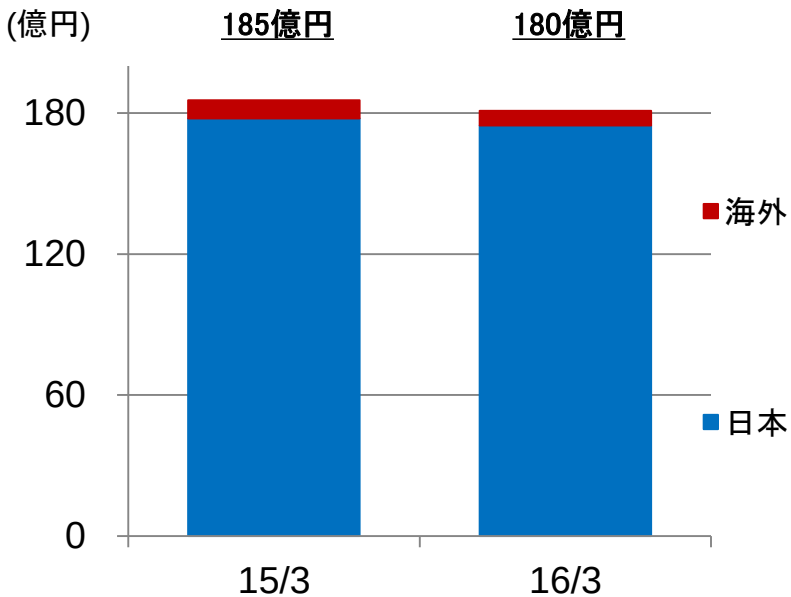
一般産業用伝動ベルト製品 所在地別売上高



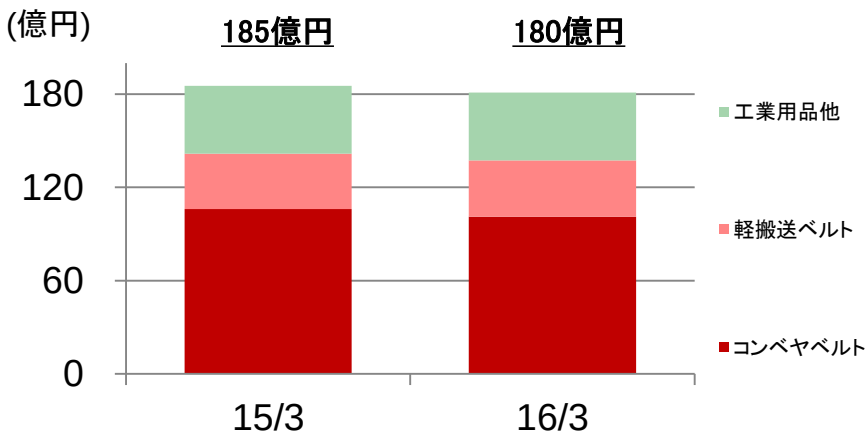
一般産業用伝動ベルト製品 製品別売上高



運搬ベルト 所在地別売上高

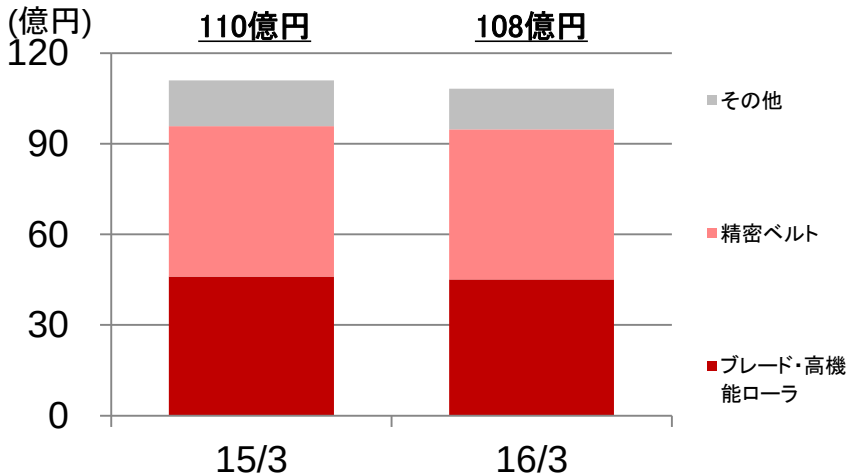


運搬ベルト 製品別売上高



■ 高機能エラストマー製品事業 概要

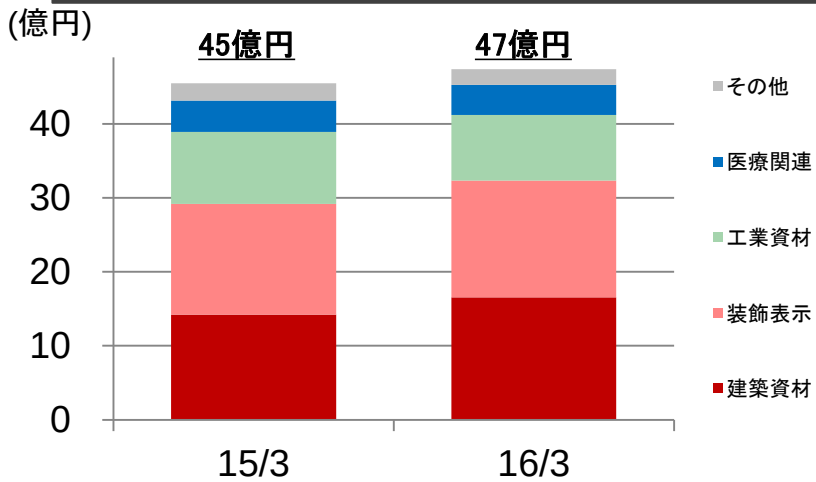
精密機能部品 製品別売上高



精密機能
部品
(△2.5%)

- OA機器などで使用される精密ベルトおよび高機能ローラなどの販売が横ばいに推移。
- ブレードおよびその他の精密研磨材などの販売が減少。

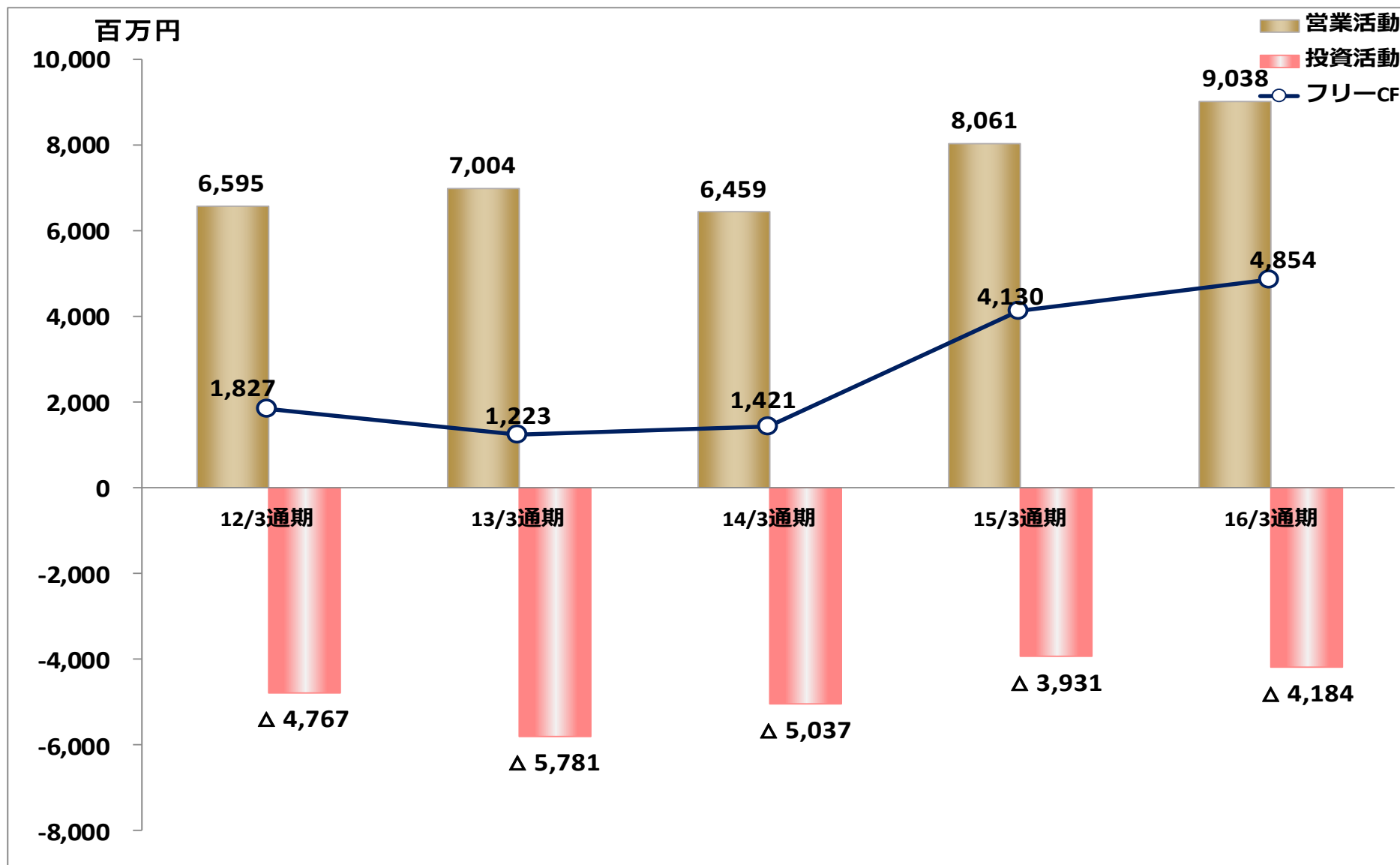
機能フィルム 製品別売上高



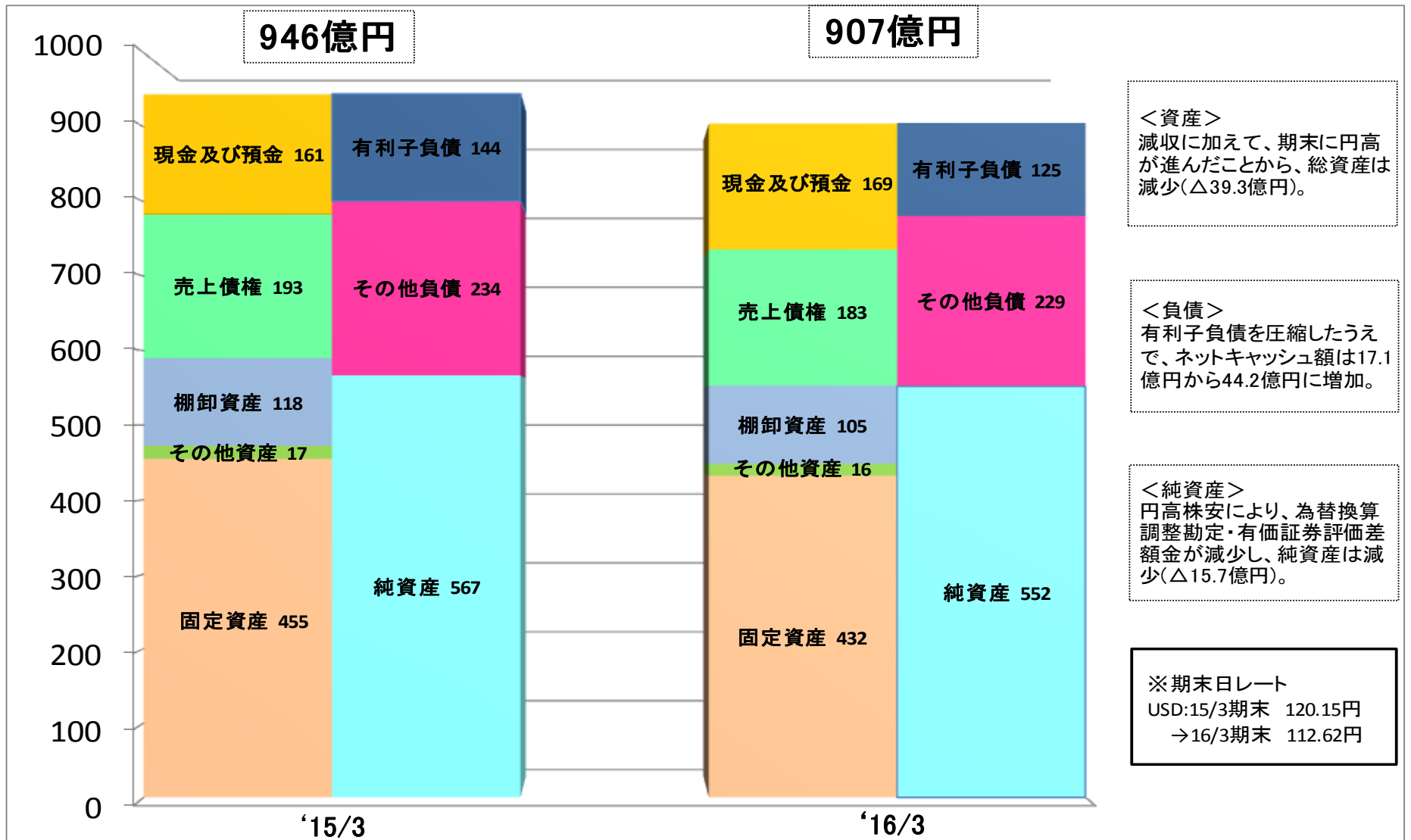
機能
フィルム
(+4.2%)

- 工業用フィルムの販売は減少したものの、建築資材用および装飾表示用フィルムの販売が増加。

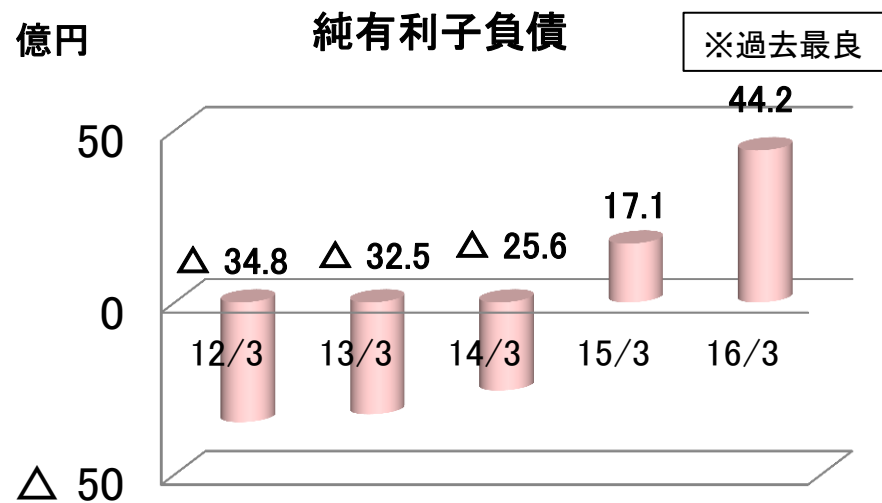
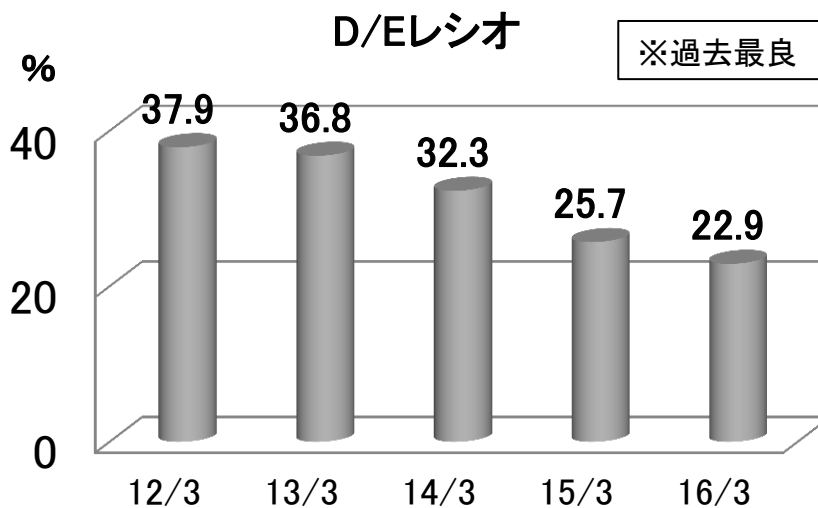
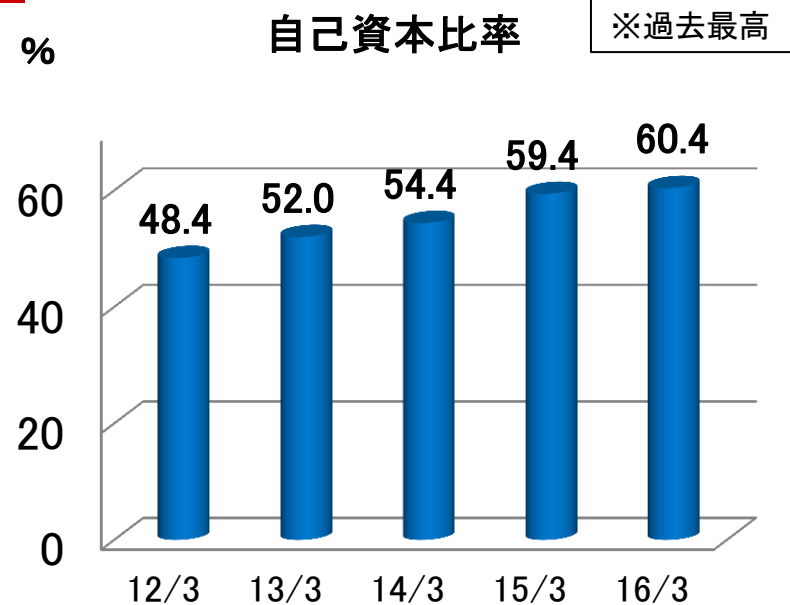
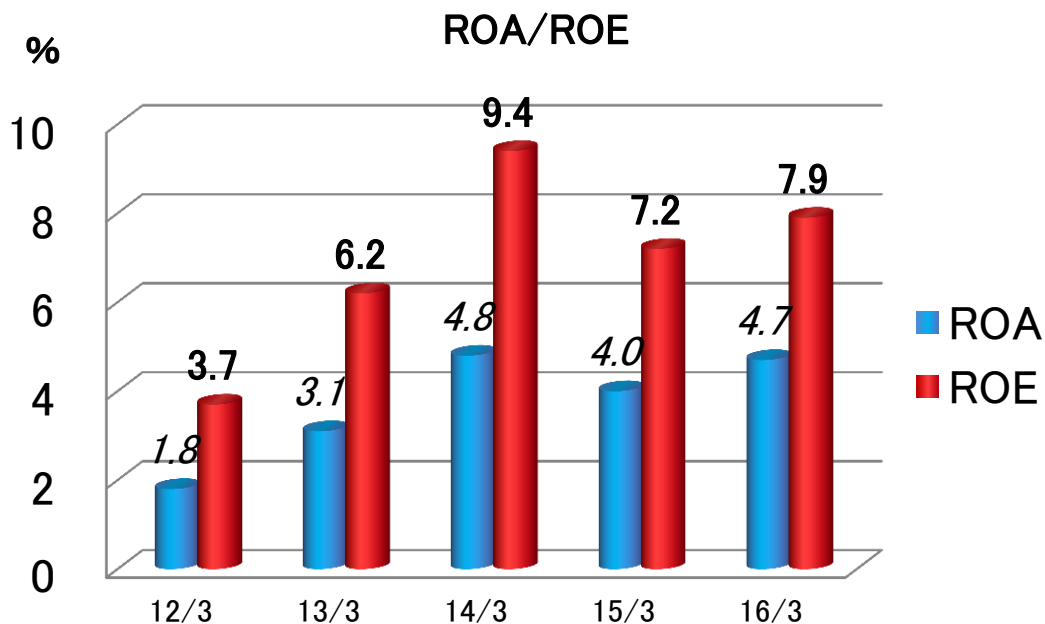
■ キャッシュフローの推移



連結貸借対照表



財務指標



主なトピックス

2015年

- 4月 ・国内最大級700kgの重可搬用ツールチェンジャー
「QUICK-CHANGE GIGA」を販売開始(ビー・エル・オートテック株)
- 5月 ・国内2工場(加古川工場:コンベヤベルト、足利工場:精密ベルト)
の生産ライン刷新に着手
- 7月 ・伸縮性ひずみセンサC-STRETCH®(シーストレッチ)を開発
研究開発キットを販売し、量産化の取り組みを推進
- 9月 ・「輸送貨物の固縛ベルト用張力計」を開発
- 10月 ・高負荷対応の歯付ベルトCeptor®-X(セプターテン)を販売開始
・欧州委員会規則に適合した軽搬送用ベルトを販売開始
・メキシコにて新会社の販売事業を開始(伝動ベルト)



「QUICK-CHANGE GIGA」



伸縮性ひずみセンサ
「C-STRETCH®」



固縛ベルト用張力計



高負荷対応の歯付ベルト
「Ceptor®-X」



欧州委員会規則に適合した
「サンライン®ベルト」

2016年

- 2月 ・工作機械摺動部用シール材バンドーワイパーエッジ®EXを販売開始



バンドーワイパーエッジ®EX

Ⅲ. 2017年3月期 業績予想

■ 2017年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2015/3	2016/3		2017/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	95,395	93,272	94,000	+727	+0.8%
営業利益	4,797	5,960	6,000	+39	+0.7%
経常利益	5,730	6,363	6,400	+36	+0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,758	4,386	4,500	+113	+2.6%

販売面

- 自動車部品事業では、中国の経済成長については、不透明な状況もありますが、アジア・中国市場および四輪・二輪補修市場での積極的な販売活動を強化していく。
- 産業資材事業では、中国市場での販売拡大、農業機械用および環境と省エネに貢献する新製品の市場投入により、販売拡大を見込む。
- 高機能エラストマー製品事業では、高付加価値製品の販売増加、精密研磨材やクリーニングシステムなどの成長市場であるオプトエレクトロニクス市場への販売拡大を目指す。

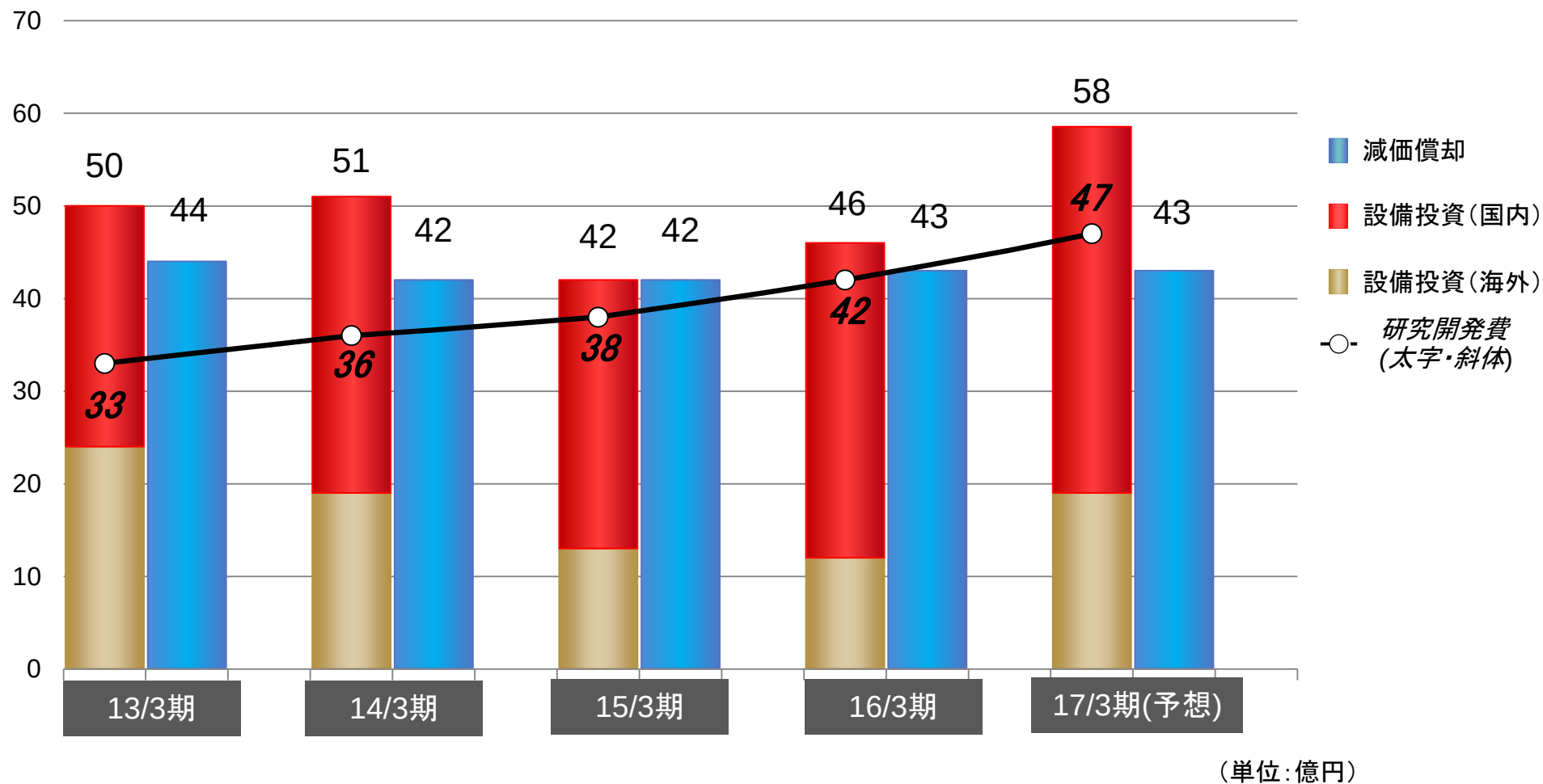
利益面

- 各生産拠点における原価低減活動の徹底や世界最適生産体制の確立により、営業利益増加を見込む。
- コンベヤベルト・ポリウレタンベルト等での革新製法の本格稼働および自動化の推進を継続し、利益改善を図る。

■ 為替レート推移

	期中平均レート			期末日レート		
	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 予想	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 予想
米ドル	110.61	119.95	110.00	120.15	112.62	110.00
ユーロ	138.41	132.25	125.00	130.29	127.47	125.00
バーツ	3.41	3.42	3.10	3.70	3.20	3.10
中国元	17.82	18.80	17.00	19.36	17.37	17.00
韓国ウォン	0.1041	0.1036	0.0900	0.1084	0.0982	0.0900

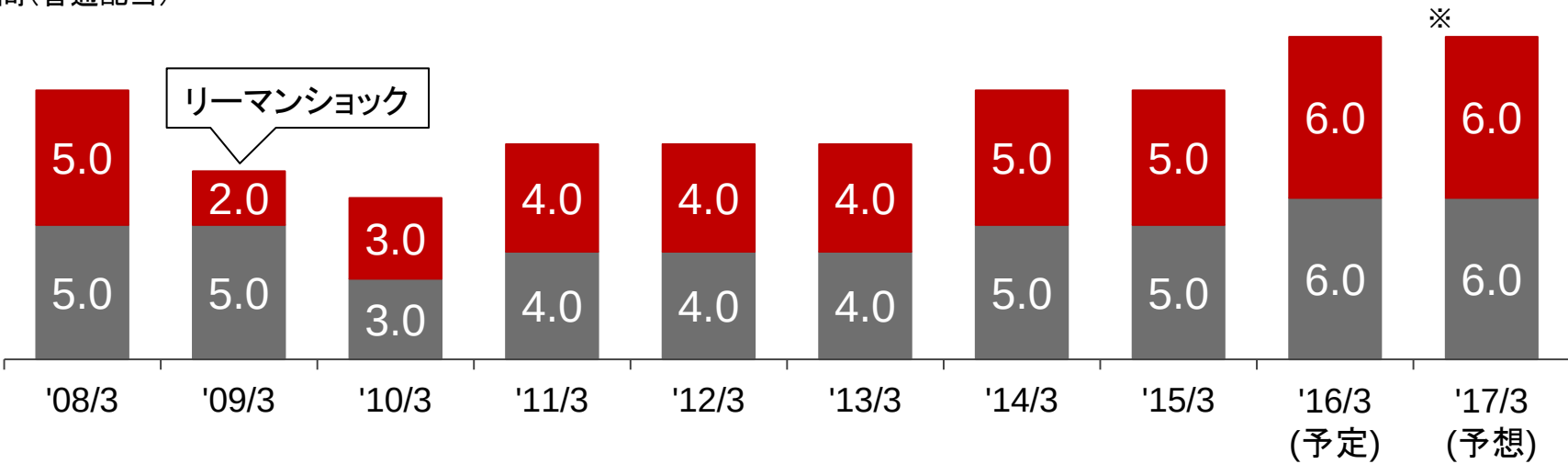
■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



株主配当の推移

1株当たり配当金の推移

■ 期末(普通配当)
■ 中間(普通配当)



配当性向	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.7%	25.0%
------	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※株式併合(2016年10月1日付)が実施された場合の期末配当金は12円となります。

株式併合および単元株式数の変更

- 株式併合 普通株式2株につき1株の割合で併合
- 単元株式数の変更 単元株式数を1,000株から100株に変更

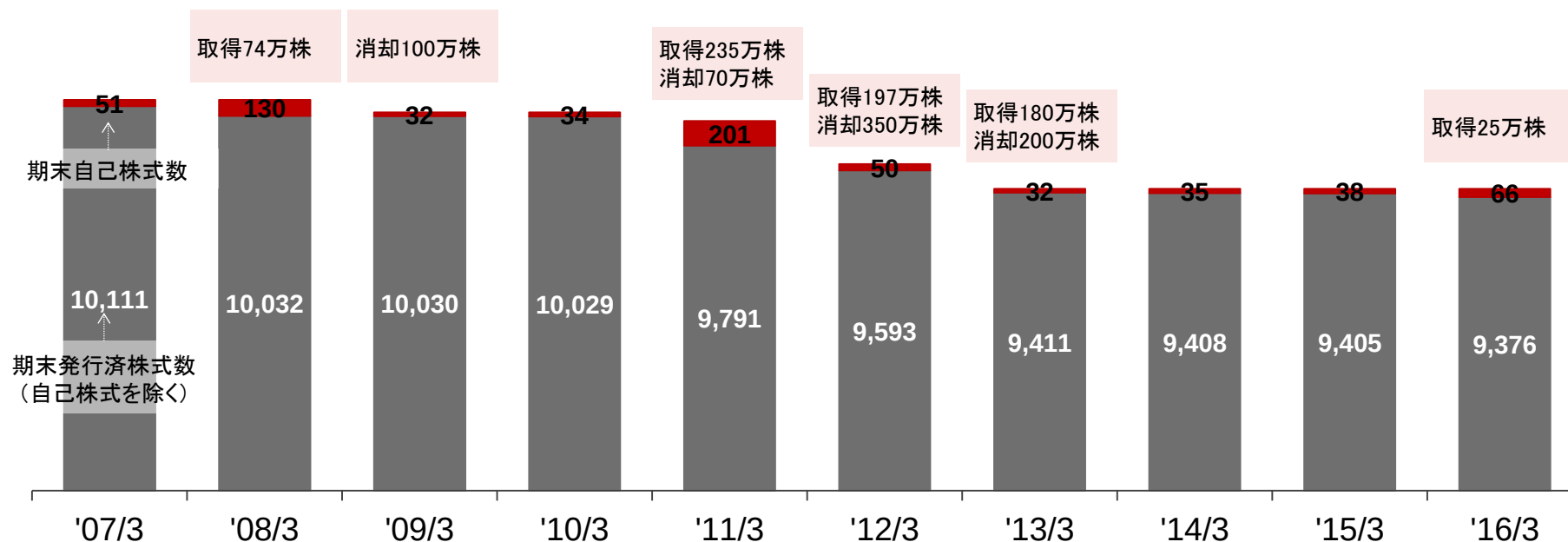
(注)株式併合および単元株式数の変更は、2016年6月23日開催予定の第93期定時株主総会において、本株式併合に関する議案が承認可決されることを条件とします。効力発生日はいずれも2016年10月1日です。

■ 自己株式の取得

■ 自己株式取得の内容 (2016年3月14日 取締役会決議)

		決議事項	取得実績
(1)	取得対象株式	当社普通株式	当社普通株式
(2)	取得株式総数	200万株(上限)	1,892,000株
(3)	株式取得価額の総額	10億円(上限)	995,688,000円
(4)	取得期間	2016年3月15日～2016年9月30日	2016年3月18日～2016年4月19日

■ 自己株式の取得/消却の推移 (単位: 万株)



■ ガバナンスの強化とインセンティブの導入

■ 監査等委員会設置会社への移行

経営の健全性・透明性・効率性の確保への取組み

- (1) 執行役員制度導入による業務執行の効率化
- (2) 取締役の任期1年による事業年度における経営責任の明確化、等

+

※監査等委員会設置会社移行による監査・監督機能の一層強化

■ 役員向け業績連動型株式報酬制度の導入

- 取締役^(注1)および執行役員を対象に、当社の中長期的な業績の向上と企業価値への貢献意識を高めることを目的に本制度を導入。
- 本制度導入により、取締役^(注1)の報酬は、「基本報酬」、「利益連動給与」および「株式報酬」により構成。
- 諮問機関として、指名委員会および報酬委員会^(注2)を設置。報酬制度に係る決定プロセスと結果の透明性、客観性を確保。

(注1) 社外取締役および監査等委員である取締役を除く。社外取締役および監査等委員である取締役の報酬は「基本報酬」のみにより構成。

(注2) 社外取締役および社外監査役を構成員に含む指名委員会および報酬委員会。

IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

中長期経営計画“Breakthrough_S for the future” 『未来への躍進』

目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

- 事業領域はベルトおよび機能製品分野、事業展開はグローバル
- キラリと光る付加価値製品の提供、キーワードは「環境・省エネ・高機能」
- ゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活用

Breakthroughs for the future 1st Stage(2013～2017年度)

- ・ 現事業の進化と深化
- ・ 研究開発と市場開拓の強化

Breakthroughs for the future 2nd Stage(2018～2022年度)

- ・ 10年後のありたい姿の実現
- ・ ベルトに次ぐ事業の確立

■ BF -1:5つの指針



BF-1進捗の現状認識

■ BF-1目標の進捗

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度予
売上高	857	934	953	932	940
営業利益	40	55	47	59	60
営業利益率	4.8%	5.9%	5.0%	6.4%	6.4%



BF-1目標 (2017年度)
売上高 1,000億円
営業利益 100億円 (売上高営業利益率 10.0%)

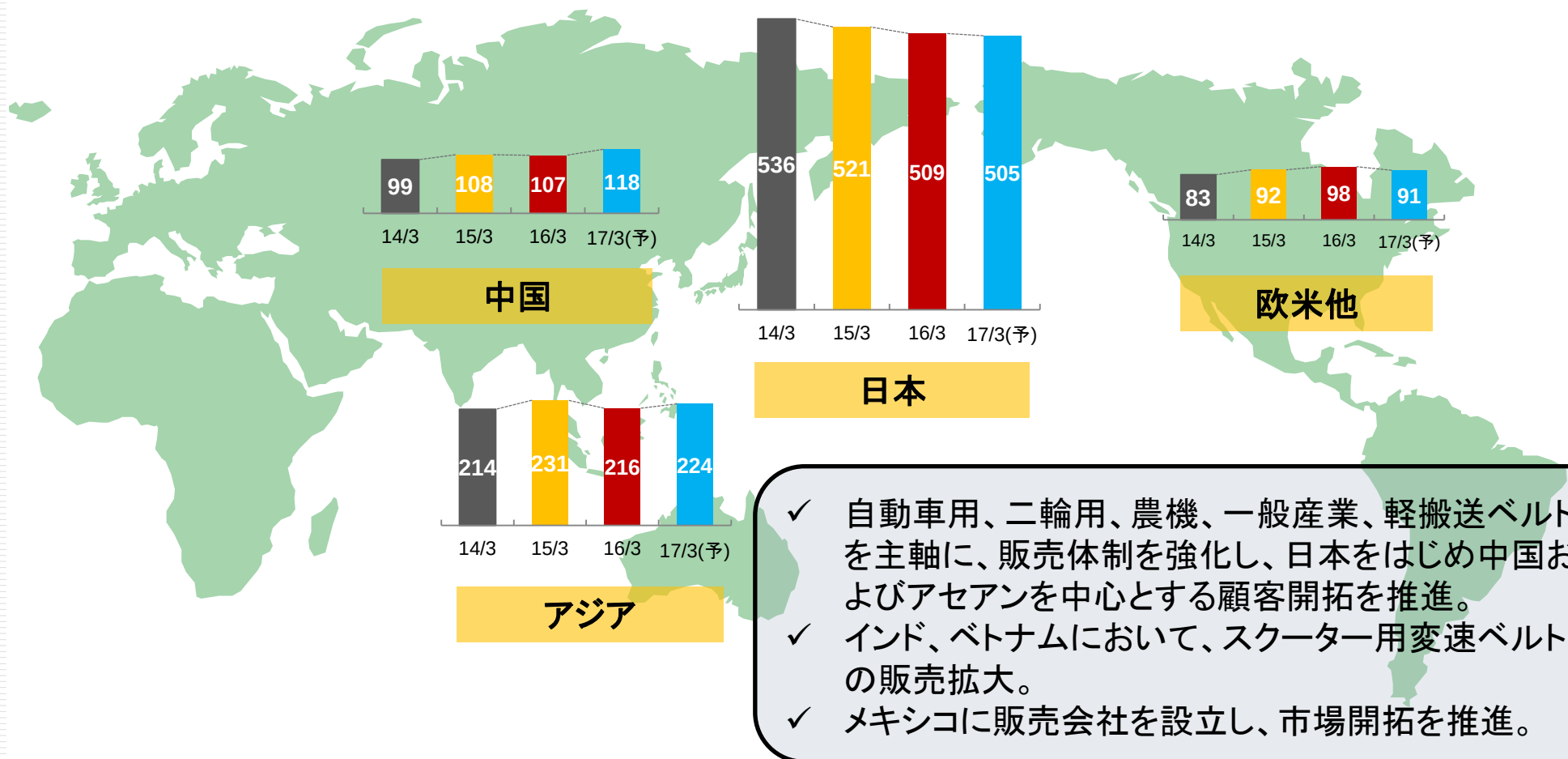
現状認識

- 2017年度売上高1,000億円は射程圏内であるが、営業利益100億円、営業利益率10%達成に関しては、施策の進捗加速が必要
- 加速必要な主な施策
 - ①為替など外部環境変化に対応した海外販売施策の加速
 - ②高付加価値製品の開発加速、販売拡大
 - ③コスト競争力強化のための革新製法投資、最適生産体制構築の進捗加速

BF-1の取組み①: グローバル市場戦略の進化

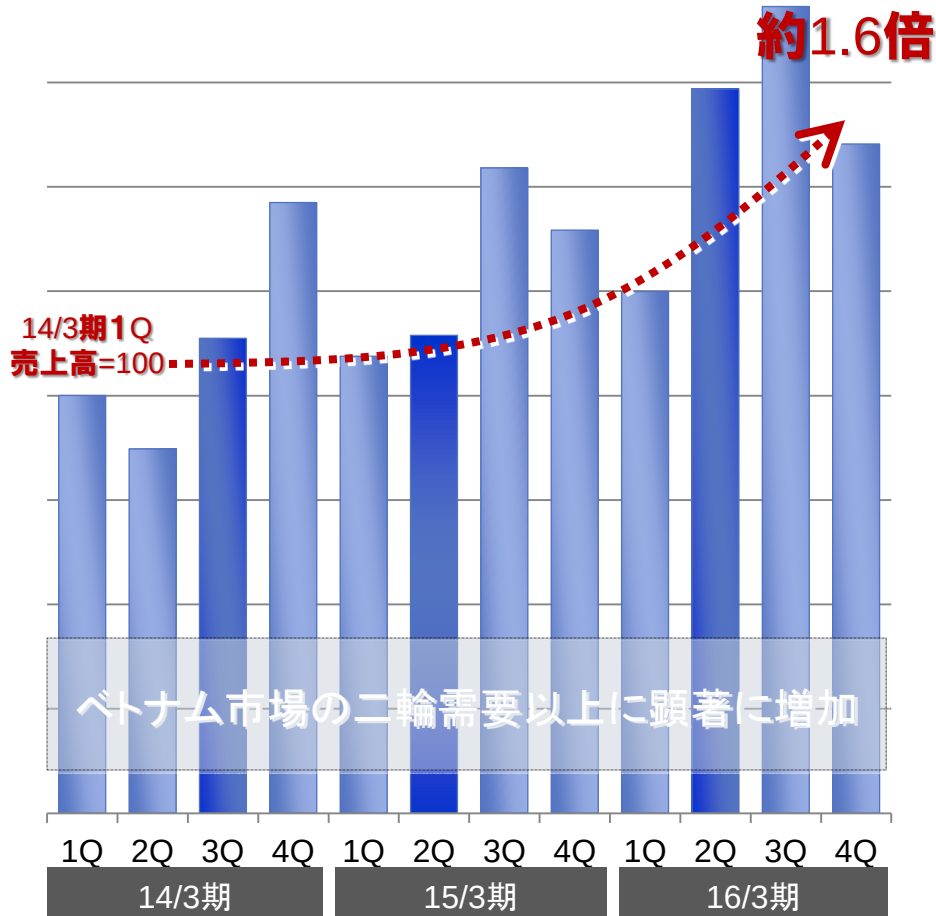
地域別競争優位方策を明確化、伝動ベルト分野でアジアNo.1を目指す

(単位: 億円)

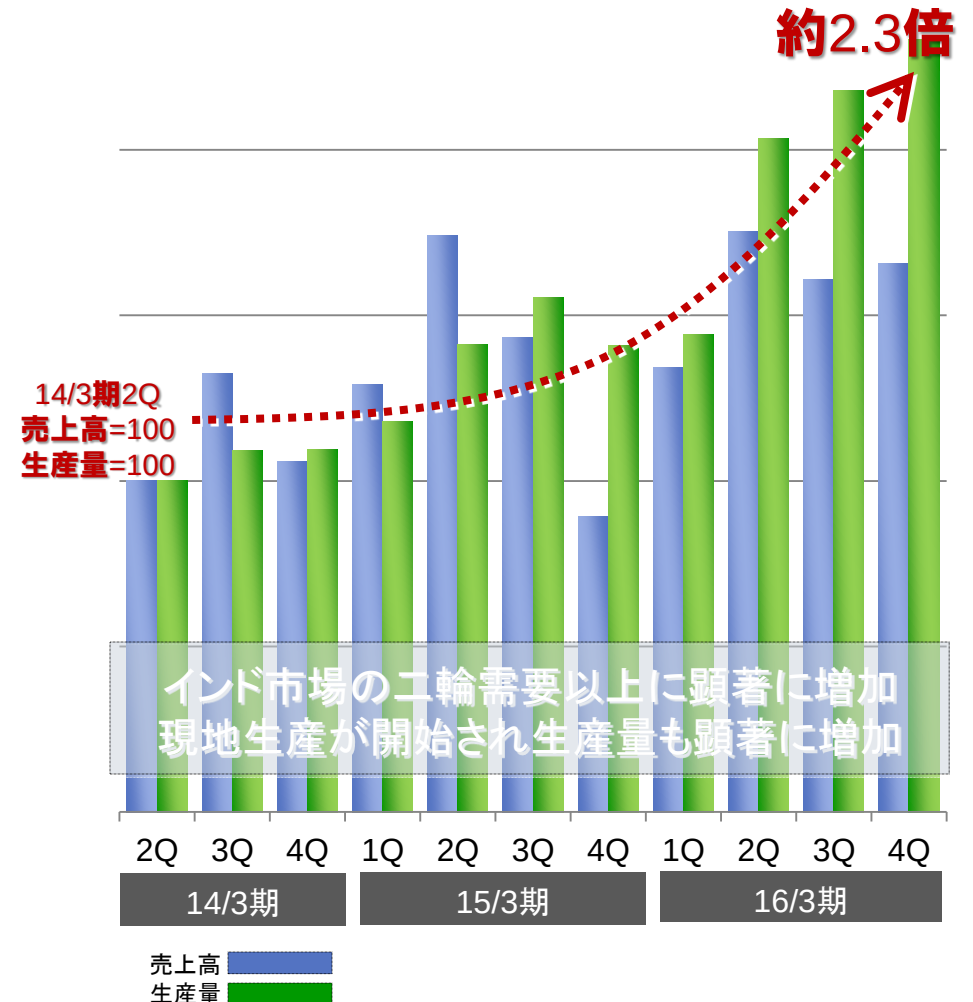


グローバル市場戦略の進化

ベトナム二輪用ベルト販売高推移



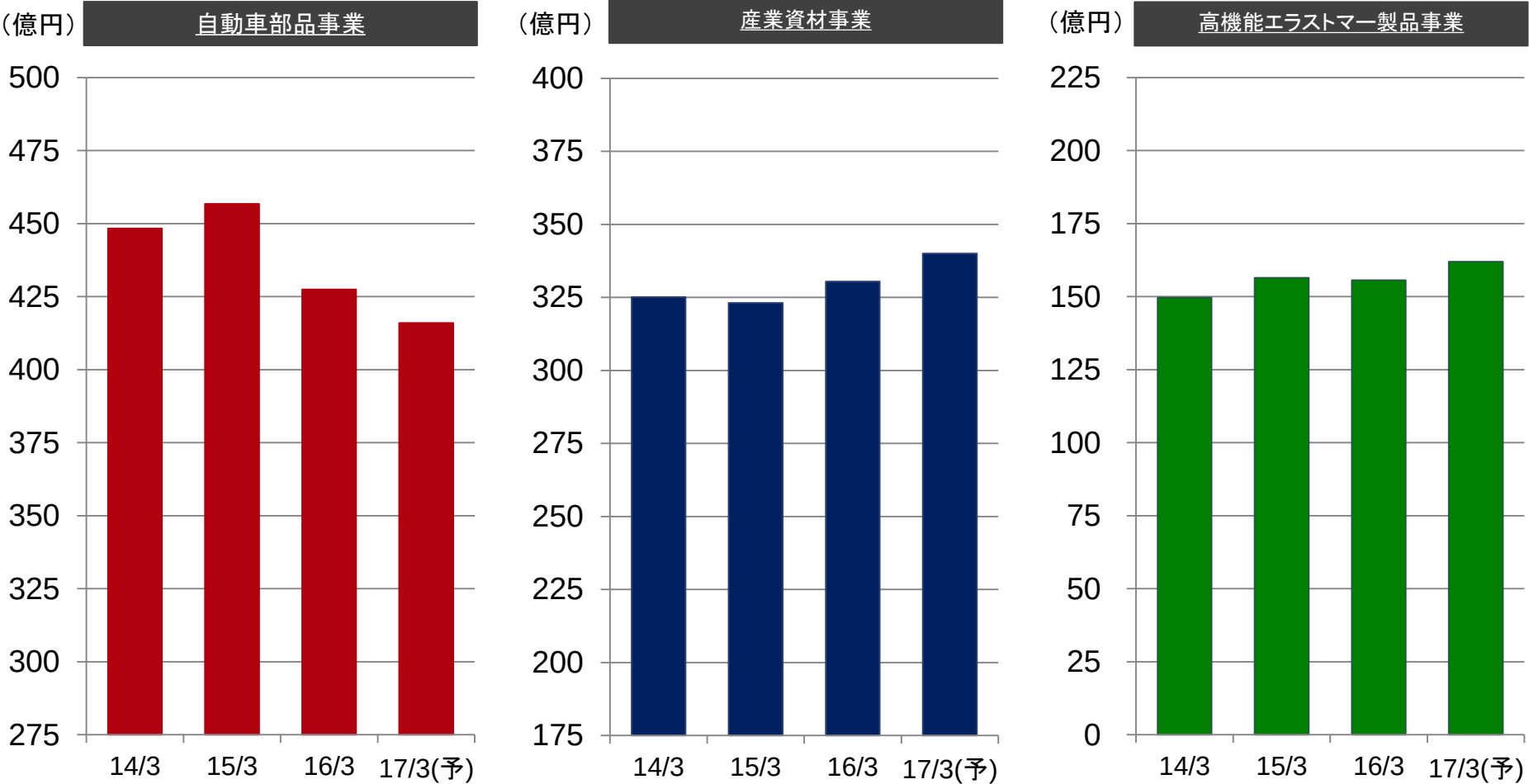
インド二輪用ベルト販売高・生産量推移



※2015/3期の海外子会社の決算期は12月から3月に変更されております。
このため14/3期1Q実績は2013年1-3月、15/3期1Q実績は2014年4-6月になります。

BF-1の取組み②：製品の進化

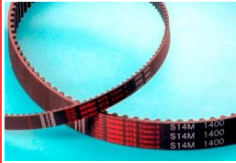
市場ニーズにマッチした高機能製品の開発、付加価値の向上



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

BF-1の取組み②：製品の進化

市場ニーズにマッチした高機能製品の開発、付加価値の向上

事業	製品		経緯・販売状況
自動車部品 事業	二輪車用「高効率変速ベルト」		既存メーカーにも採用され、モデルチェンジの切替も検討中
	高負荷対応歯付ベルト 「Ceptor®-X：セプターテン」		新規採用と他社品切替を推進中
	軽搬送用ベルト「サンライン®ベルト」 (欧州委員会規則適合品)		既存メーカーの欧州向け機械用に採用済み
	工作機械摺動部用シールブレード 「バンドーワイパーエッジ®EX(イーエックス)」		大手工作機械メーカーへの納入開始。国内・海外市場への拡販を図る
高機能 エラストマー 製品事業	OA機器用「長寿命現像ローラ」		- 既存メーカーに、新仕様として採用済み - 今後の後継機への搭載検討中

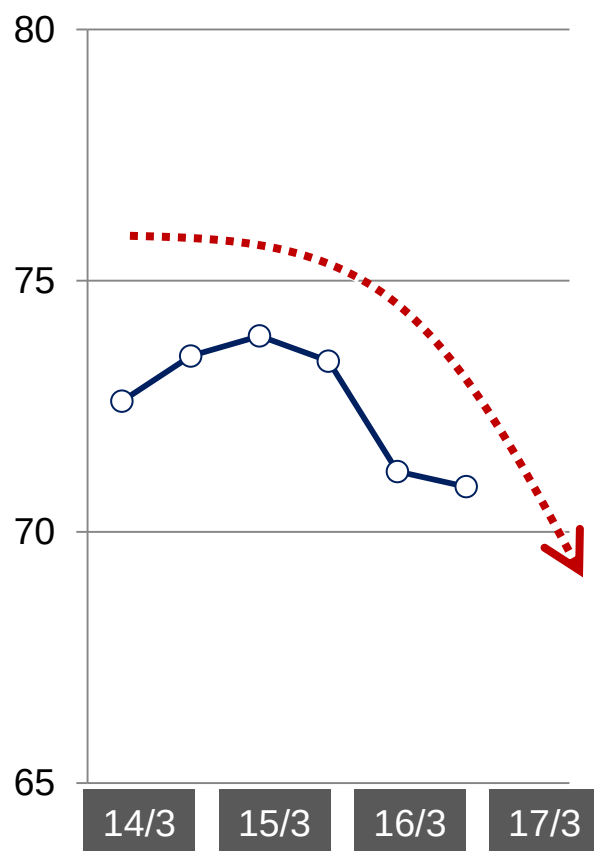
市場ニーズにマッチした高機能製品の開発、付加価値の向上

事業	製品	経緯・開発状況
自動車部品 事業	電動システム用駆動シンクロベルト (エンジン補機以外の分野での攻略)	システムの静音化に優れたシンクロベルトであり、今後、高級車をはじめ自動運転システムを搭載した車両の拡大に伴い、関連ユーザーを攻略中
産業資材 事業	農機用ベルト向け 新規製品の開発	既存メーカー製品のモデルチェンジに対し、当社製品採用に向けての現有製品の開発対応

BF-1の取組み③:ものづくりの進化

グローバル市場を攻略するためのコスト競争力強化

■ 売上原価率(%)の低減



革新製法の開発・確立

2015年度以前

- ・ コンベヤベルト生産ライン刷新
- ・ ウレタンベルト新製法開発
- ・ 主要ベルト製品での新製法開発、自動化の推進

2016年度以降

- ・ コスト削減に寄与する新製法の開発、自動化の推進継続

開発購買の推進

2015年度以前

- ・ 国内外の材料探索

2016年度以降

- ・ 製品開発、世界最適生産体制構築との連携

世界最適生産体制の構築

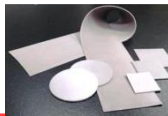
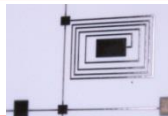
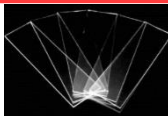
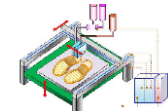
2015年度以前

- ・ 世界最適生産構想案作成

2016年度以降

- ・ 実施に向けての準備、2017年生産移管実施

次世代の柱となりうる新事業の育成

ターゲット領域	製品/開発製品		研究	製品開発/顧客評価	量産
オプト エレクトロニクス	放熱シート (電子デバイス用)		サンプル品の販売、量産に向けた改良開発取組中		
	金属ナノ粒子ペースト 「FlowMetal®」		数社の評価完了、量産に向けて精製工程着手		
	光学用透明粘着剤 (OCA)		量産に向けて得意先とスケジュール策定中 (2016年度より販売開始見込)		
自動車/交通	輸送貨物の 固縛ベルト用張力計		物流会社山九株式会社と共同開発中 (2016年度より販売開始見込)		
ロボット	産業用ロボットデバイス 「QUICK-CHANGE GIGA」		2015年度より販売開始		
その他	伸縮性ひずみセンサ 「C-STRETCH®」		医療・福祉・介護分野を中心に 評価用キットを販売中		
	リアクティブ3Dプリンタによる テーラーメイドラバー製品			内閣府の戦略的イノベーション創 造プログラム(SIP)で取組中	

“Breakthroughs for the future”

『未来への躍進』

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。